

生涯学習だより
まなぶ君

学んでみよう そこには 新しいあなたと まちキラリ

臨時号

令和7年8月1日発行

編集・発行:

生涯学習だより編集部会

ひらど市民大学運営委員会



ひらど市民大学

受講生募集

募集締切：8月13日(水)まで！！

※右の二次元コードより簡単に申込できます。



「ひらど市民大学」開講！！

対象

高校生(16歳)
以上の市民

期間

令和7年8月～
令和7年12月

主会場

たびら活性化
施設

主催：平戸市教育委員会

主管：ひらど市民大学運営委員会

ひらど市民大学カリキュラム

ご提出先

生涯学習課
および 各公民館
(FAX申込み可)

No.	と き	分野	内 容	講 師
①	R7.8月23日(土) 18:00～20:00	開講式 歴史・政治	日本国の存亡の危機に貢献した九州の歴史 ～誰のお陰で今の日本があると思とつか!～	学長 平戸市長 黒田 成彦 氏
②	R7.9月27日(土) 18:00～20:00	栄養・食生活	たまご(鶏卵)は千両役者	長崎県立大学 栄養健康学科 教授 城内 文吾 氏
③	R7.10月25日(土) 18:00～20:00	民族・歴史	第2回 誰かに教えたいくなる! 平戸の地名講座	平戸まちづくり運営協議会 地域づくり部 会員 近藤 司 氏
④	R7.11月15日(土) 18:00～20:00	特別講義	「自分の命は自分で守る」	東日本大震災・原子力災害ふくしま語り部県外派遣 いわき語り部の会 会長 大谷 慶一 氏
⑤	R7.12月13日(土) 18:00～20:00	特別講義	「脳はいくつになっても成長する」	脳科学者 茂木 健一郎 氏

※内容については変更になる場合があります

会 場

たびら活性化施設 ※変更になる場合があります

お問い合わせ先

〒859-4807 平戸市田平町里免27番地1
平戸市教育委員会生涯学習課内 ひらど市民大学運営委員会事務局
TEL:0950-22-9214 FAX:0950-25-1211

ひらど市民大学 受講申込書

申込日 令和7年 月 日

☆ふりがな				所 属 (学校・勤務地・活動団体等)
☆名 前				
☆住 所	〒		生年 月 日	昭和 平成 年 月 日
☆連絡先	電話番号		携 帯	
	F A X		Eメール	
備 考				

☆…必ずご記入ください。 **申込期限** 令和7年8月13日(水)

1 歴史・政治

開催日 R7.8/23 土



開講式 日本国の存亡の危機に貢献した九州の歴史 ～誰のお陰で今の日本があると思とっとか！～

学長

平戸市長 黒田 成彦 氏

内 容

我が国は、過去に幾度となく存亡の危機にさらされながらも、現在まで連綿と歴史を紡いできました。今回の講演では、古くは記紀神話における天孫降臨の時代から、近代史、現代に至るまで、日本国が危機に瀕したとき、ここ九州がどのような役割をいかにして果たしてきたのか。それを皆さんと一緒にひも解いていきたいと思ひます。

2 栄養・食生活

開催日 R7.9/27 土



たまご(鶏卵)は千両役者

長崎県立大学 栄養健康学科
教授 城内 文吾 氏

内 容

「(科学的に不確実な証拠がたくさんあるにもかかわらず)たまご(鶏卵)にはコレステロールが多く含まれるので、摂取すると脂質異常症、動脈硬化症などの発症リスクが高まる」といったイメージが先行し、たまごの摂取を敬遠される方が多数おられます。たまごは良質なたんぱく源であり、ビタミン・ミネラルも豊富。たまごの栄養と機能、たまごの摂取と病気との関係について紹介します。あなたの“たまご”に関する知識をアップデートしませんか？

講師紹介

2009年3月
鹿児島大学大学院連合農学研究科博士課程 修了
博士(農学)取得(連研第638号)
2009年4月～2010年2月
独立行政法人 国立健康・栄養研究所 特別研究員
2010年3月～2020年3月
九州大学大学院農学研究院 助教
2020年4月～2025年3月
長崎県立大学看護栄養学部栄養健康学科 准教授
2025年4月～
長崎県立大学看護栄養学部栄養健康学科 教授
現在に至る

3 民俗・歴史

開催日 R7.10/25 土



第2回誰かに教えたくなる！ 平戸の地名講座

平戸まちづくり運営協議会
地域づくり部会員 近藤 司 氏

内 容

みなさんは、平戸の土地の名前をどれだけ知っていますか。そして、呼ぶことができますか。ここでは、普段あまり意識することのない「平戸の地名」についてお話します。受講後、平戸の地名を大切な人にお話したくなる…かもしれません。

講師紹介

1981年 平戸市出身
1999年 猶興館高校在学中、地元神社についてまとめた小冊子『市南琴風録』上梓
2008年 平戸で、のべ600名から地名を聴取
2013年 平戸市民病院入職
2022年 野子町の地名伝承を元にした紙芝居『美世女とタコ』上梓
2023年 『ひらど薬物乱用防止カルタ』上梓
2024年 平戸小学校区16町の地名を紹介した『ところの呼び名さがし』上梓
2025年 原爆投下直後の浦上の復興を担った平戸出身神父について執筆した『道のさなか-中田藤太郎神父様を想う-』(聖母の騎士社)上梓
現在、平戸市立病院広報誌『竜んおとしご』に地名を交えた「風物はくすり」連載中

4 特別講義

開催日 R7.11/15 土

「自分の命は自分で守る」

東日本大震災・原子力災害ふくしま語り部県外派遣
いわき語り部の会 会長 大谷 慶一 氏



内 容

自分の体験を減災防災のためにどう活かせるのか?特に強く願うのは、「厄災から自分の命を守る」こと!「逃げるスイッチ」をどうやったら押せるのか?日常生活の中で、その事態をシミュレーションするイメージトレーニングをおすすめしています。震災講話では一人一人が災害のことを「自分ごと」として想像して考えることの大切さについてお話しします。

講師紹介

いわき市薄磯在住。約40年のサラリーマン人生を61歳の定年で迎えた2年目の2011年3月に東日本大震災に遭遇。津波被害に遭ったが、九死に一生を得る。2012年、いわき市で実施したスタディーツアー事業「語り部養成講座」に参加。同年、「いわき語り部の会」を結成して現在に至る。

5 特別講義

開催日 R7.12/13 土

「脳はいくつになっても成長する」

脳科学者
茂木 健一郎 氏



内 容

人生100年時代といわれるいま、「もう年だからできない」といった、わたしたちが無意識に持っている「エイジズム(年齢に基づく固定観念)」から脱却し、日々をポジティブに生きるためには? 「いつまでも元気なあの人」はなにが違うのか、現代の日本社会を覆う「老害」問題にも茂木さんならではの視点から斬り込み、最新の脳科学の観点から、何歳になってもボケない・若返る脳の使い方をお話しします。

講師紹介

脳科学者 1962年生まれ。ソニーコンピュータサイエンス研究所シニアリサーチャー。東京大学理学部、法学部卒業後、東京大学大学院物理学専攻課程修了。理学博士。専門は脳科学、認知科学。理化学研究所、ケンブリッジ大学を経て現職。著書:『脳とクオリア』(日経サイエンス社)、『生きて死ぬ私』(徳間書店)、『脳と妄想』(小林秀雄賞受賞・新潮社)、『今、ここからすべての場所へ』(桑原武夫学芸賞受賞・筑摩書房)、『心と脳に効く名言 言葉と測りあうために』(PHP研究所)など多数。

受講料

生涯学習パスポート対象事業

- 一 般：3,000円
(入学金：2,000円 + 年間受講料：1,000円)
- 大学生：1,000円
(入学金：1,000円 + 年間受講料：無 料)
- 高校生：無 料

- ※受講料は開講式の時にお支払いください。
- ※2年目以降は、年間受講料のみ必要です。
- ※入学せずに、聴きたい講義だけを受講することができます。
- 聴講料として、1回につき500円お支払いください。
- ※1講義1単位を取得し、22単位で修了となります。
- 修了後も継続できます。

あなたの人生を
変える一歩です!



あなたの
「学びたい」を
かたちに!